

まるはん通信

平成24年
5月号

発行元

(株)丸半大場

編集者

大場 豊

橋本泰久

沢木貴之

先月の14日に新東名高速道路がついに開通しました。

商業エリアに出店した店舗は、前倒しとなった出店の準備に大分苦労したようでしたが、実際に開店してみると、平日にも拘らず予想を上回る盛況ぶりの様子。

さすがに新東名開通は集客力があるものだと感心しましたが、それだけではなく、他の商業施設や観光地も来場客数を回復しつつあるようです。

不景気の連鎖からの脱出、デフレからの脱却が着実なものとなってきているのかもしれませんが。飲食業界も安値一辺倒の傾向から脱して、お店や料理の本来の価値が正当に評価される時代になってもらいたいものです。

株式会社 丸半大場 代表取締役 大場豊

人気店の秘訣・ヒントをさぐる！

厳しい外食産業の世界で、連日連夜繁盛している飲食店もある。リピーターに支持されているお店の秘訣はどこにあるのか。

(松坂市・焼肉店・月商2500万)松坂牛を手ごろな値段で食べられることで人気。県外からの顧客が半数。牛を一頭買いつくことが秘訣。

(大阪市・居酒屋・月商980万)路上屋台の居酒屋、海鮮料理のボリュームで有名。マグロの一本買いと現金買いで安さを実現。

(大和郡山市・バイキング・月商700万)手作り重視で出来立てに拘るバイキングレストラン。終了時間に持ち帰りOKなど、常識を破るサービスで人気。

(立川市・ワインバー・月商320万)ワインリストを置かず、ボトルに白インクで値段を表記。1万円以上のワインは置かない。安心してワインを楽しめると人気。

(千葉市・海鮮居酒屋・月商1200万)商業ビルの中の繁盛居酒屋。激安の海鮮メニューで原価率は75%や100%のものも。美味しくて安い料理を提供し続けること。儲けは少ないがそういう店が最後に生き残ると断言。

(札幌市・居酒屋・月商1300万)パフォーマンスも人気の元気な居酒屋。元漁師の経営者の為、店舗内も漁師町の雰囲気。漁師間のネットワークを生かした仕入れが強み。

(藤枝市・野菜の居酒屋・月商900万)看板がなく、メニューに値段もない。メニュー外のものも作る。顧客との関係と距離を重視した店。

繁盛店は安さか料理の拘りかのどちらかが秀でている。客単価が高かろうと、それ以上の「お得感」を演出できていればお客さんについてくる。お店の特徴を強化して、ブレない店舗経営を。

飲食業界ニユース

3月の街角景気、復興需要や円安で8カ月ぶりに上方修正

内閣府が4月9日発表した3月の景気ウオッチャー調査によると、3カ月前と比べた街角の景況感を示す現状判断DI（指数）は、復興関連の消費や円安などを背景に前月比5.9ポイント上昇の51.8ptと、2カ月連続で改善した。基調判断を「持ち直している」と2月の「緩やかに持ち直している」から上方修正した。50P超えは基調判断の上方修正とも昨年7月以来8カ月ぶり。復興関連では「人の流入が増え、2年前との比較でも来客数は2桁以上伸びている」（東北のコンビニ）、「復興特需が続いており、宿泊や飲食店の売り上げも順調」（東北の都市型ホテル）などのコメントが寄せられた。

日経DI、4月は反転。外食も潮目に変化

震災後、とりわけ苦戦が目立った外食からも潮目が変わったという声が上がっている。

「幅広い客層の間で、『再評価』が進んだ手応えがある」。ファミリールレストラン「デニーズ」などを運営するセブン&アイ・フードシステムズのレストラン事業部は昨年10月から客足の戻りが鮮明になり、今年3月には既存店売上高で前年比19.2%増を記録した。

野菜の付け合わせたっぷりでカロリーも低めな「アボカドハンバーガー」（790円）、空輸して食べごろを提供する「完熟！ フィリピンマングロー」（450円）など、「価格以上の納得感を出せた商品は想定以上の注文が入る」。以前に比べメニューを吟味して注文を決める消費者が多く、単品志向が強いファストフード店との競争で有利に働いているという。

居酒屋チェーンが新サービスが好調

節約志向や若者のアルコール離れの逆風が吹く中、大手居酒屋チェーンが新たなサービスを導入し需要の掘り起こしを急いでいる。営業時間外の昼間の貸し出しや、ノンアルコール飲料による宴会といった新企画で、主婦や夜勤前の利用客が増えるなど、いまのところ滑り出しは順調だ。コロワイドは傘下の「甘太郎」などで、ランチ終了から夕方の営業開始までの間、個室を会議室やセミナー会場として貸し出し、終了後にそのまま宴会を行うプラン「ちよこつとセミナー」を1月から始めた。10人前後のグループでの利用が多く好評といい、暇だった「空白」時間帯の稼働率の向上につなげているという。同社は主に女性をターゲットにしたノンアルコールビールやソフトドリンク飲み放題の「ノンアル宴会」も昨秋から導入。夜勤を控えた消防士が利用するなど「意外なニーズも発掘できた」と、新サービスに手応えを感じている。

農水省が放射性物質を国基準で、と食品業界に通知

食品の放射性物質への対応を巡り、農林水産省はスーパーや食品メーカー、外食産業などの業界団体に対し、国の設けた基準値を守るよう求める通知を出した。食品業界などでは、国よりも厳しい独自基準を設けている場合もあり、同省は「国の基準は十分に安全。異なる基準では混乱を招く」としている。

今回の通知では、この基準が国際的にも厳しいものであるとし、過剰な規制と消費段階での混乱を避けるため、自主検査においても基準値に基づいて判断することを求めている。

しかし通知は過剰で国こそ信頼されてない、との批判も出ている。

相場情報

原油の高騰がじわじわ製品価格に影響を及ぼしている。中国政府の輸出品への補助金停止の影響も大きい。多くの中国産品の価格上昇が懸念される。

マッシュルーム(中国)

昨年秋からの福建省の機構が非常に寒く、収穫が大幅に遅れた上に、予想以上に収穫高が少ないことが判明。その為、工場の稼働日数も少なく、既に生産は終了。日本向けの製品は非常に少ない。ただ、来年に向けて程よい需給バランスになると予想。

冬筍(中国)

今までの価格が安すぎた為、今年は修正局面となり、原料価格や中国元・日本円の為替の関係で、ある程度の価格の上昇は避けられないと予想される。

ツナ(輸入)

相変わらず原料価格が高い上にキハダマグロの混獲率が非常に低い状況で低調。こうした状況の中、鰹を原料としたライトミートツナを生産販売する動きが加速している。ただし業務用の業界では、色や味の違いの問題の為にあまり流通していない。また輸入業者にとっても逆さやの状態になり、対応に苦慮している。しかしながら、海外では既に鰹原料のライトミートツナが業務用でも普通に流通している為、今のような品薄及び価格高騰が続けば、近い将来日本国内でも鰹原料の製品が増えてくる可能性がある。

スイートコーン(タイ)

洪水の影響から例年より収穫が遅れ、2月から3月初めにかけて原料が不足し、現地の一部輸出業者は積み遅れ、値上げなどを主張している。現在の原料価格は昨年同時期よりキロあたり5バーツ以上高く推移している。また最低賃金が4月1日より40%上昇し、空缶価格も5~10%上昇、アメリカドルに対してのタイバーツ高もあり、4月以降の値上げは避けられない状況。

円安への一服感はあまりない。全体として製品価格の上昇は大きな流れになっている模様。

繁盛店情報

モバイル世代が集う渋谷のカフェ

「フリーマン カフェ」

JR渋谷駅から5分程歩いた場所に「フリーマンカフェ」はある。ここは渋谷区の中でもかなりのカフェ激戦区で、去年の3月にオープンして以降、根強い人気を保ってきた。この店の最大の特徴は、モバイル機器が充実している点だ。主に小休憩や時間潰しとして利用されてきたカフェだが、今ではネット環境の改善から徐々にカフェでのパソコン利用が広まっている。

客層は、学生風の若者が半分以上を占めていたが、パソコンを広げて商談をする会社員もいる。Wi-Fiを飛ばしていて、パソコンやiPadなどを持ち込めば好きなだけインターネットを利用することができる。広いテーブル席にソファも備えられていて、長時間パソコンを利用する場合にも打ってつけた。そうして仕入れた情報をコーヒーを飲みながらノートパソコンでまとめ、形となったものを自分のオフィスのパソコンに送っておけば、あえてオフィスにいない必要はない。

オフィス代りにカフェを使うだけでなく、学生たちのレポート作成や好きなアニメもパソコン一つで十分に楽しむことができる。「フリーマンカフェ」は、カフェ業態に求められていた自分だけのTHIRD PLACEというべき場所を、具現化した理想的なカフェなのかもしれない。



プライム (新商品・特選品) 案内

イチビキ 業務用
塩こうじ調味料
500g/15 320円



坂口 40cmx40cm
冷凍 平湯葉
10枚入 1,500円



丸半大場からのご案内

丸半大場では、飲食店向けの不動産物件の紹介をしております。提携している不動産会社と随時連絡を取り合い、お客様からご要望があった時に、不動産会社担当者が迅速に情報提供できるような体制を整えております。弊社のお客様の中にも、該当不動産会社を通じて出店された店舗は数多くあります。

提携の不動産会社は、飲食店向けの賃貸物件の情報を多く所有しており、カバリエリアも湖西市から掛川市までと広範囲の物件情報を提供してまいります。

新しくお店を出される予定の方はもちろん、店の移転や規模拡大・縮小、家賃の相場や人気出店エリアの相談など、不動産物件についてのあらゆることに対応しております。

些細なことでも構いませんので、店舗不動産についての疑問や相談等は気軽に弊社社員までご連絡下さい。

編集後記

新東名高速道路が明るい話題を運んでくれています。

4月の開通以来、当初の予測以上の利用者があり、サービスエリアも駐車場は連日満車、施設内の飲食店もフル回転だそうです。

また好調なのは新東名だけではなく、周辺の観光施設等もその恩恵は小さくない様子。特に山に囲まれた北部の観光地やレジャー施設で今まで来場者が少なかったところは、新東名でアクセスが格段に改善された為に来訪者が急増したそうです。

その中のあるお店を尋ねると、忙し過ぎて休憩も休みもなく辛い、とのこと。リーマンショックや震災で厳しい状況が続いた分、今の状況はありがたいことだと思えます。もう少しこの忙しさを楽しんでら、と言つと笑顔に戻りました。